

平成 28 年度

十勝地区の巻

事務局 士幌町中央中学校



十勝の冬 スケート授業

十勝小・中校長会は、管内 102 校（併置校 1 校）の校長で組織されている。今年度は、採用校長 14 名の新会員を加え、4 月 13 日に総会を開催し、新役員を選出するとともに、活動方針・予算等を決定し、石川新会長の示した「展望と漸進」を校長会の合い言葉とし活動を開始した。

I 本年度の活動方針

十勝小・中校長会は、【校長の教育実践指標】（昭和 55 年改定）を掲げ、会員相互の研鑽に励むとともに、公教育の役割と使命の高揚に努めてきた。そして、創意と工夫に富んだ学校経営と教育活動の推進で、十勝教育の充実・振興に多くの成果を上げてきた。

今日、様々な分野において世界的な構造転換が進む中、東日本大震災以降、これまでの物質的な豊かさを前提にしてきた社会の在り方や人の生き方に変化が現れてきていると言われ、先行きが見えにくい状況にある。学校教育においても、第 2 期教育振興基本計画が決定され、道徳や小学校英語の教科化、小中一貫校の制度化等、教育再生実行会議から数次にわたる提言がなされ、新学習指導要領の改訂に向けて、教育内容や学校のシステムが、今、確実に変わろうとしている。

各学校においては、従来にも増して「法令遵守・説明責任・情報公開」を基盤に、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を中心とする「生きる力」の育成を目指して、特色ある教育活動を展開することが求められている。

このような状況にあって、私たち校長は新しい教育基本法の本質と【校長の教育実践指標】の趣旨を今一度確かめ合い、公教育の使命の下に質の高い教育実践のリーダーとして、主体性と創造性を発揮し、先人が築き上

げてきた「十勝ならではの教育」の継承と管内教育の充実に努めるものである。

そのためには、中・長期の展望をもち、積極的に研修を進め、情報を共有し、会員相互の連携はもちろんのこと、「十勝はひとつ、すべては子どもたちのために」を合い言葉に、保護者・地域とともに「子どもの確かな育ちの創出」のために漸進する決意である。

II 活動の重点

1 創意工夫に満ちた特色ある学校経営に努める

- 学習指導要領・新教科書に基づく創意ある教育課程，学校評価，学力・体力調査，学校職員評価制度，教頭の職能向上，時間外勤務縮減等

2 当面する学校運営上の諸問題の解決に努める

- 国旗・国歌の適正な実施，学校教育指導訪問の充実，関連団体や保護者・地域住民との連携等

3 協働体制の確立と信頼関係の深化を図り，組織体としての機能充実に努める

- 組織改善と効率化，迅速な情報提供，校長会史編纂作業，教育局・教委連等関係機関との連携強化等

4 研修を深め，主体性を確立し，教育上の諸問題の解決に努める

- 新体制での管内研究大会、法制研究

会, 学力向上, 道小研, 道中研, 全連小研・全日中研, 交通事故・違反等不祥事防止や健康管理の研修, 第17次教育研究3か年計画策定等

5 地域社会・関係機関との連携を強化し教育諸条件の整備に努める

- 人的・物的条件整備, 特別支援教育の条件整備, いじめ・不登校への対応, 安全確保のための対策等

6 待遇改善・福利厚生等の向上を図るため, 情報交換と要望活動の充実に努める

- 待遇改善, 健康管理・福利厚生, 再任用制度対応等

III 各部の活動方針

1 研修部

- ① 教育に係わる諸動向を的確に把握し, 研究活動を通して会員の資質向上と教育諸課題の究明・解決に努める。
- ② 町村・方面における研究の充実と推進を図るため, 教育情報を提供するなど, 十勝教育の充実・発展に努める。
- ③ 各種研究大会への積極的な参加促進に努める。

2 経営部

- ① 道小・道中・町村校長会との連携を密にし, 組織を充実させる。
- ② 教育現場の経営上の諸問題を組織的に解決する活動を積極的に推進する。
- ③ 教育現場の法制上の問題の研修を深め, 共通理解と職能向上に努める。
- ④ 教育関係機関・団体との連携を深め校長会の主張・見解に対する理解を得て, 十勝教育の発展に努める。

3 対策部

- ① 学校運営上の今日的課題について調査研究を推進し, 学校経営向上に役立てる。
- ② 各町村の特徴的施策等について資料収集に努め, 条件整備・充実に資する。

③ 会員の健康維持, 福利厚生の充実, 退職校長の福祉の向上に努める。

④ 教育懇談会等の開催を通して, 会員相互の親睦交流に努める。

⑤ 道小・道中・町村校長会及び各町村教育委員会等の関係機関と連携を深め, 業務の円滑な推進に努める。

4 情報部

① 各町村校長会の活動, 研究や実践, 会員の声などの交流を図るとともに, 今日的な動向を踏まえた提言・提唱などを掲載し, 職能の向上に資する。

② 視点を明確にした特集で, 学校経営の考え方や意見を交流し, 経営の質を高める資料の提供に努める。

③ 校長の特色ある教育実践や課題に関わる取組などを広く紹介する。

④ 教育課題などに正対し, 課題の解決に資する内容と構成に努める。

⑤ 道小・道中との連携を密にする。

⑥ 退職校長との紙上交流を図る。

⑦ 情報の迅速な提供と関係資料の適正な収集と保存に努める。

IV 役員

会 長	石川 満 (音更小)
副 会 長	宝輪 博継 (清水中)
〃	水野 豊昭 (浦幌小)
事務局 長	小澤 一記 (士幌町中央中)
事務局次長	山下 勇 (清水小)
〃	横山 利幸 (札内南小)
会 計 長	関根 秀実 (上士幌中)
会 計 次 長	山田 洋 (木野東小)
監 査	若狭 重人 (屈足南小)
〃	井口 観慈 (古舞小)
〃	大熊 孝史 (芽室南小)
研 修 部 長	程野 仁 (芽室中)
経 営 部 長	中村 真也 (豊頃小)
対 策 部 長	竹田 義隆 (西上音更小)
情 報 部 長	渡會 崇善 (芽室西小)